

執筆者紹介 (掲載順)

西村 成雄	大阪外国語大学外国語学部教授	糸野 博行	本学総合経営学部助教授
瀧澤 秀樹	本学経済学部教授・当研究所所長	佐々木謙一	本学総合経営学部講師
前田 啓一	本学経済学部教授	長谷川明彦	りそな総合研究所研究開発部研究員
古沢 昌之	本学総合経営学部助教授	金 美 善	国立民族学博物館研究員
孫 飛 舟	本学総合経営学部助教授	小田 忠	本学学術研究事務室長

編集委員 (50音順)

(○は論文審査委員)

○飯田耕二郎	本学総合経営学部教授	○塩田真典	本学経済学部教授・経済学部長
○岩井紀子	本学総合経営学部教授	瀧澤秀樹	本学経済学部教授・当研究所所長
○片山隆男	本学経済学部教授・副学長 ・大学院地域政策学研究科長	○谷岡一郎	総合経営学部教授・本学学長
○菊池光造	本学経済学部教授・図書館長	○中野 安	本学総合経営学部教授・商業史博物館長
坂本雄司	本学事務局長	○前田啓一	本学経済学部教授

◆◆編集後記◆◆

10月28・29日の日程で、第7回国際シンポジウムを本学で開催する。今回のテーマは「グローバル経済時代の国家と企業」である。このシンポジウムは、毎回東アジアの時事経済を睨んでテーマが決まる。もちろん、内容を企画しているのは当研究所の研究者であるからあたりまえのことだが、いつも私はそのテーマ設定に説得力を感じさせられる。

今年、9月11～20日の日程で、今回のシンポの中心的運営メンバーの一人でもある孫飛舟先生とともに学生の海外語学研修の引率者として北京へ行く機会があった。この研修の行程には、北京・松下の合弁会社BMCCへの工場見学が含まれていた。ここではテレビのブラウン管を生産している。

この訪問の最後に質問の時間が与えられ、一人の学生がブラウン管需要の将来性について、案内担当の製造部長に率直な疑問を投げかけた。部長の回答には、世の趨勢に抗して低価格で質の良いブラウン管づくりを極めようとする意志がはっきりと表れていた。ブラウン管が日本や欧米で売れなくなっても、価格面での利点から、世界的に見れば、例えばアジア・アフリカでの需要に将来性を見いだせるのではないか。それが世界規模での企業経営というものなのかなと感じた一方で、帰りの飛行機を待つ北京空港の搭乗ロビーに、広告塔のように並ぶ韓国の三星やLG、中国のHAIERなどのスタイリッシュな液晶テレビを目にすると、やはり私にはその経営方針が痩せ我慢にも思えてくるのだ。

(池田治司)

2006年10月20日 発行

地域と社会 第9号

編集・発行

大阪商業大学比較地域研究所

〒577-8505

東大阪市御厨栄町四丁目1-10

TEL(06)6785-6139

印刷

株式会社 RPSセンター